

**認定看護師教育基準カリキュラムの概要**  
 (特定行為研修を組み込んでいる教育課程:B課程教育機関)

分野	脳卒中看護
作成年月	平成 31 年 3 月
<b>【趣旨】</b>	
<p>脳卒中看護は、急性期・回復期・生活期のあらゆる場で看護を必要とする対象に対して、高い臨床推論力と病態判断力に基づき水準の高い看護が実践できることを目指す認定看護師像とした。</p> <p>教育内容は現行の基準カリキュラムをほぼ踏襲し、あらゆる時期と場に対応できる教育内容を盛り込んだ。</p>	
<b>【組み込む特定行為区分】</b>	
<p>「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」                  「精神・神経症状に係る薬剤投与関連」</p>	
<b>【詳細】</b> 〈〉は単元、『』は新たな基準カリキュラムの教科目、「」は現行の基準カリキュラムの教科目を示す	
<p>1. 認定看護分野専門科目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現行のカリキュラムが、あらゆる対象・場を想定し作成されていたため、新たに追加した教科目はない。</li> <li>・当該認定看護分野の名称変更に伴い、「脳卒中リハビリテーション看護概論」を『脳卒中看護概論』に変更した。それに伴い、現行の「脳卒中リハビリテーション看護概論」に入っていた〈ICF (International Classification of Functioning, Disability and health) の概念と障害〉を、『生活再構築のための支援技術』の教科目に移動した。さらに、「脳卒中急性期重篤化回避の支援技術」に含まれていた〈脳卒中患者とその家族に対する看護ケアと判断に関する説明責任〉を『脳卒中看護概論』に盛り込んだ。</li> <li>・『脳卒中の病態生理と診断および治療』と『脳卒中機能障害とその評価』は、共通科目との重複内容を整理し、15 時間ずつ削減した。</li> <li>・『脳卒中急性期重篤化回避の支援技術』に、現行の「学内演習」に含まれていた事例による看護過程の展開を移動した。</li> <li>・『脳卒中患者への社会的な支援技術』に、今後、脳卒中看護認定看護師に期待される入退院支援に関する学習内容を追加した。</li> </ul> <p>2. 統合演習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨地実習での受け持ち患者のケースレポートの作成と発表のみとした。</li> </ul> <p>3. 臨地実習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習時間は 150 時間とし、実習内容を踏まえ、ねらいを整理した。</li> <li>・今後、脳卒中看護認定看護師に期待される入退院支援に関する内容を追加した。</li> </ul>	